

No. 27 号 ひらつかの風

2022年7月号
(令和4年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1センター情報・平塚市情報
- P.2 団体レポート 『湘南いきもの楽校』
- P.3お役立ち情報
- P.4センター情報・平塚市情報

団体
レポート

『湘南いきもの楽校』 — トトロの森の整備を体験 —



センター情報

平塚市市政施行 90 周年記念事業

ひらつか市民活動センターまつり

日時 ● 11月27日(日) 10:00～15:00 **開催日決定!!**

6月17日(金) 第1回まつり実行委員会を発足し、上記日程で開催することが決まりました。
センター登録団体の皆様の参加申込みをお待ちしています!

平塚市情報

御寄附をいただきました!

この度、(株)伊達建設様と平塚経済懇話会様から「平塚市協働のまちづくり基金」への御寄附をいただきました。

この基金は市民活動団体や地域団体による公益的活動への補助等に活用されています。



市長と(株)伊達建設様



市長と平塚経済懇話会様

『湘南いきもの楽校』で、 トトコの森の整備を体験してきました!

2001年から「馬入水辺の楽校の会」として活動を開始し、2017年にはNPO法人格を取得。「NPO法人 暮らし・つながる森里川海」(通称:湘南いきもの楽校)は、「子どもの時は子どもする」を合言葉に子どもたちに自然と触れ合う場や機会を提供しています。法人化されて5年を迎えた「湘南いきもの楽校」の活動を訪ね、理事長の白井勝之さんにお話しを伺いました。

■馬入水辺の楽校と湘南いきもの楽校

相模川の河口域は馬入川と呼ばれています。「川の自然と触れ合える場をつくろう」と市民、平塚市、国土交通省との協働で「馬入水辺の楽校」を開校しました。現在は湘南いきもの楽校が基軸となり、馬入水辺の楽校を自然とのふれあいの場、環境学習活動の場として、フィールドミュージアム(自然生態園)づくりに取り組んでいます。市民参加でバタフライガーデンづくりやトンボ池づくり、生きもの広場づくりなどを進めています。自然観察ガイドパネルを設置すると共に、カメラリ調べやバッタ飛ばし大会など多様な環境学習活動を展開しています。「森と海はつながる」をコンセプトに山梨の子供たちとつながる上下流交流会や海の自然と触れ合う岸壁採集、みんなの畑などにも取り組んでいます。



右から3番目が
理事長の白井さん



■「トトコの迷路」づくりに挑戦

馬入水辺の楽校の自慢は、生きものいっぱいの自然環境です。子どもたちにとって、面白いと思えることがいっぱい詰まっています。

取材した5月21日(土)は「トトコの迷路」づくりを行いました。あいにくの天候でしたが、2家族6名が参加していました。お話を伺ったところ、これまでも生き物調べやみんなの畑の活動に参加している方々でした。

「トトコの迷路」は竹林の中に造られた道で、当日は整備のためにタケノコの刈り取りを行いました。放っておくと竹林になり、歩けなくなってしまいます。布袋竹(ホテイチク)という種類で、30cmくらいで刈り取り、茹でると美味しく食べられます。利き手で鎌を持ち、反対の手は逆手にしてタケノコを持ち、切ります。そうすると腕の下に空間ができ、鎌が滑っても自分の腕を切らずに済みます。「現代の子どもたちは日常生活の中でノコギリや鎌を使うことは殆どありません。危険だからと言って使わせませんが、経験者がきちんと指導すれば大丈夫です。今まで何回も実施していますが、一度も事故は起きていません。加えて言えば、



▲トトコの迷路



▲大人顔負けの手付き

子どもたちはノコギリやスコップを使う事が大好きです。」と白井さんは話します。参加していた小学1年生の男の子は鎌の使い方がとても上手で、次から次へと刈っていました。



■楽校の現状とこれから

楽校には人工的に造られた3つの池があります。ルールは「外から生きものを持ち込まない」。しかしながら、ウシガエルやアメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメなどの外来種が侵入し、トンボのヤゴなどを食べるなど、池の生態系を崩しています。ブラックバスやブルーギルなどを放す人も多くて困っています。「カエル池」は、普段は子どもたちの遊び場になっていますが、2年に1度「かい掘り」といって、池の水を抜いて外来生物の駆除を行っています。白井さんは、「今年も9月にかい掘りをするが、外来生物を完全に駆除することは難しい。」とおっしゃっていました。



▲鎌の使い方を学んでいる様子

夏休みの間もたくさんのイベントが開催予定です。この夏は自然に囲まれた水辺の楽校で過ごしてみたいかがでしょうか。

活動の様子はぜひホームページからご覧ください!

検索!

湘南いきもの楽校

■取材を終えて

水辺の生きものに限ったことではありませんが、一度飼ったのであれば、最後まで責任を持たなければならない、安易な行動で生きものや環境を変えてはいけないのだと、改めて思いました。湘南いきもの楽校で遊び子どもたちの笑顔にまた会いに行きたいと思います。(文責:二宮)



お役立ち
情報

NPO法人会計の基礎

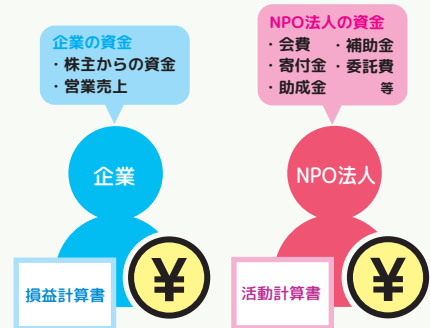
センターでは、「NPO法人を立ち上げ活動しているが、NPO会計が良くわからない、企業会計との違いを教えて欲しい」などの相談が増えています。そこで今回は、NPO法人会計のおさらいをしてみようと思います。



1 企業会計と非営利会計の根本的な違い

企業は一般的に株主から得た資金を使って利益を確保することを目的としています。企業会計では利益の源泉となる売上（収益）とそれに費やした経費（費用）に関する「損益計算書」を報告します。企業の経営成績と財務状況を開示することにより、投資家の判断に有用な情報を提供すると共に債権者の保護を図るためです。

一方、NPO法人は利益の分配を目的にしていないため、事業の継続性や寄付金などが適切に使用されているかどうかの情報開示に重点をおいています。従って、その活動のため受け取った資金（会費・寄付金・助成金・補助金・委託費等）とその資金の用途、すなわち資金の流れを明確にするために「活動計算書」を作成します。



2 活動計算書と貸借対照表の概略

活動計算書 ● 収益と費用及び損失を明らかにし、1会計年度分を集計し活動実績を表す財務諸表です。

貸借対照表 ● その所有する預貯金やそれ以外の資産がどれだけあるのか、また、どれだけ借金などの負債があるのかを、NPO法人を取り巻く関係者に報告するために貸借対照表を作成します。

※資産…現金・預金・車両など有形のもの、未収金・貸付金など無形もの。
※負債…法人が将来支払わなければならない債務で、未払金・借入金など。

3 基本的なチェックポイント

① 経常収益

受取会費・事業収益など組織活動を通じて資産が「増加」した原因を表すもの。
受取会費（会員から定期的に支払われるお金）は原則実際に入金された時に計上します。
※勘定科目は受取会費・受取寄付金・事業収益など。必要に応じて受け取り会費を正会員受取会費・賛助会員受取会費などに細分化しても良いでしょう。

② 経常費用

事業費・管理費など、資産が「減少」した原因を表すもの。
経常費用は、(1) 事業費と(2) 管理費に分け、それぞれ勘定科目を設定します。
(1) 事業費はNPO法人が目的とする事業を行うため直接要する費用（人件費や消耗品等の経費）。
(2) 管理費はNPO法人の各種の事業を管理するための費用（経理総務の専従・総会・理事会などの経費）。



4 活動計算書と貸借対照表の関係

- ① 活動計算書の前期繰越正味財産額と貸借対照表の前期末の正味財産の部の合計額は一致します。
- ② 活動計算書の次期繰越正味財産額と貸借対照表の正味財産の部の合計額は一致します。
- ③ 貸借対照表の資産合計と負債及び正味財産合計は一致します。
- ④ 当期正味財産増減額は営利企業で言う当期純利益に相当するものです。

※正味財産 = (資産) - (負債) で算出される差額



会計は聞きなれない言葉や専門用語が出てくるため、慣れないうちは大変かもしれませんが、立ち上げ期からNPO会計の特徴を理解しながら取り組んでいくと良いでしょう。



おすすめポイント!

- ◆ センターでは税理士による個別専門相談を基本的に年2回開催しておりますので、こちらも併せてご利用ください。
- ◆ 「NPO法人会計基準協議会」のサイトをご覧ください。その中に「みんなで使おう! NPO法人会計基準」という項目があります。Q&A形式になっているので、分かりやすいです。

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

「親子で学ぼう SDGs」 平塚市市政施行 90 周年記念事業

SDGs カードゲームを使って親子(団体)で楽しく学んでみませんか?
夏休みの自由研究にもご活用ください。

日時 ● 8月20日(土) 13:30 ~ 16:00 講師 ● 小野利隆氏 一般社団法人 SISA 代表
定員・対象 ● 平塚市在住の親子(小学1年生以上)15組、市民活動団体(2人一組)5組 参加費 ● 無料

「NPO 法人の会計・税金個別無料相談会」

人気の個別相談会を実施します。会計・税金でご不明な点はこの機会をご利用ください。

日時 ● 9月15日(木) 18:00 ~ 20:00 講師 ● 税理士 徳永先生、小原先生
定員・対象 ● 平塚市内で活動する NPO 法人の理事長・会計(経理)担当者など 4 団体先着順
参加費 ● 無料

★上記イベントはひらつか市民活動センターで開催します。感染症対策にご協力をお願いいたします。

平塚市情報

令和3年度実施 協働事業報告会を開催しました!

令和4年5月12日(木)に令和3年度に実施した協働事業の報告会を開催しました。
協働事業に興味のある方は、平塚市協働推進課までお問い合わせください。

令和3年度実施市民提案型協働事業

- ①『NPO 法人ママプラグ × 災害対策課』
「アクティブ防災」で作る、手をつなぎたくなる街平塚の防災力強化プロジェクト
- ②『NPO 法人ぜんしん × 中央図書館』
図書館におけるボランティア体験を通じた不登校・ひきこもり改善・自立支援事業
- ③『NPO 法人フードバンクひらつか × 環境政策課』
平塚市食品ロス削減事業並びに相対的貧困解消事業
- ④『NPO 法人湘南 NPO サポートセンター × 協働推進課』
社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり支援事業

令和3年度実施行政提案型協働事業

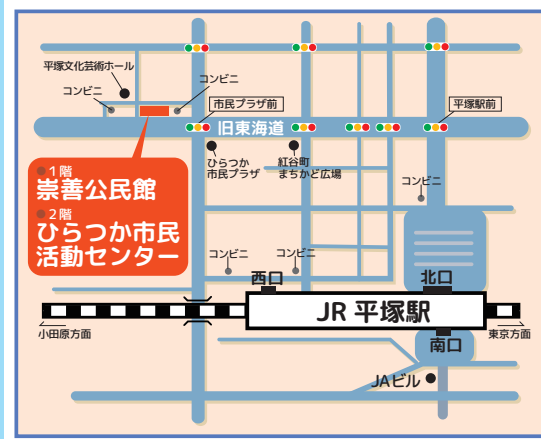
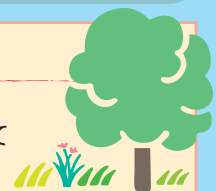
- ⑤『ひらつか生物多様性推進協議会 × 環境保全課』
平塚市生物多様性保全推進事業
- ⑥『ひらつか着地型観光推進委員会 × 商業観光課』
着地型観光プログラムの開発とイベントの周知及び実施



◆ 実施された協働事業の内容等は [こちら](https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page-c_02194.html)
◆ 当日の様子は [こちら](https://www.youtube.com/channel/UCOouvz9BGOhSqfSpyTdV0sQ/videos)

編集後記

初取材 & 団体レポートを書かせていただきました。
「湘南いきもの楽校」には 30 種類もの鳥が来るそうです。晴れていたらいろいろな声が聞こえてきたかもしれませんね。一度楽校を訪れて、緑の中で深呼吸してみませんか? (に)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045
神奈川県平塚市見附町 1-8
TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601
Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net
URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数(2022年6月15日現在)
登録団体数 ● 460 団体
(内訳 市民活動団体…333 団体、一般団体…127 団体)

